



CHECK MORE — 近江楽士(地域学)副専攻 P.66

現場を訪れ、
本質を見極める
副専攻で磨いた課題解決力

地域活性化について学ぶため「近江楽士」を受講しました。地域の子育て支援施設の認知度向上をテーマに動画を制作する実習では、実際に施設を訪問した際に、場所が分かりにくいことに気づいたことから、道案内動画を作ることに。課題解決において、現場を訪れ、課題の本質を見抜く重要性を実感しました。町役場で働く今も、その経験を生かして地域の方の相談に対応しています。また、副専攻で得た実践的なスキルは、現在の業務の中でも役に立っています。今後は学科の学びで得た考古学の知識も生かし、町の文化振興に貢献したいです。

西村 空さん 日野町役場
人間文化学部 地域文化学科 2024年度卒業

Global 世界



CHECK MORE — 国際交流・留学情報 P.70

地 Region 域



CHECK MORE — キャリア教育・キャリアサポート P.72



大林組に興味を持ったのは高校生の頃。3回生の5月に参加した大学提携のインターンシップでは現場の熱量を肌で感じ、憧れが強まりました。キャリアデザイン室に何度も通い、面接練習やエントリーシートの添削をしていただきました。同時に、就活セミナーにも多数参加。特に印象的だったのは学生が面接官役を務めるセミナーです。評価する側に立つことで、自分の強みや弱みを客観視できるようになりました。今後は、多くの人に関わる建築現場において、思いやりを持って行動するとともに、自身の意見をしっかりと持ってコミュニケーションをとっていきたいです。

前川 明璃さん 株式会社大林組
環境科学部 環境建築デザイン学科 2025年度卒業

「自ら求め、成長する学び」を軸に、
自分だけのフィールドを見つけよう。
キャンパスから地域、世界、
未来へと無限に広がるフィールド。

my Infinite Field 未来

人への思いやりを忘れず、
憧れの建築現場で活躍したい



中学生の頃に訪れて大好きになったオーストラリア。高校生の時はコロナ禍で渡航できませんでしたが、大学で留学が実現しました。留学前はIELTS対策や英語の授業を受講し、大学の助成金制度も活用しました。現地では先住民文化アボリジニや環境・社会問題について学び、プレゼンやエッセイを通して英語で発信する力を身につけました。また、語学力は自然に身につくものではなく、自ら積極的に英語を使うことで得られるものだと実感しました。今後は、世界と日本をつなぐ架け橋的な存在となり、国際交流や地域の次世代教育に貢献していきたいと考えています。

宮本 紗良さん
人間文化学部 国際コミュニケーション学科 4回生

世界と日本をつなぎ、次世代へ
学びを広げる